

みんなで作る

ふれあいの大屋根

“滝沢村交流拠点複合施設”

住民が集う場として、大屋根の下、麓に出来た集落のように顔を出す様々な交流施設がにぎわいをつくります。



ROOF NEWS Vol.1

※屋根の英単語 ROOF をとり、タイトルとしました。

ROOF1 第1回作業部会ワークショップ（全体会）が開催されました。

H24年10月12日（金）に、滝沢村の鶉飼地区に計画されている交流拠点複合施設の作業部会ワークショップ（全体会）が、村役場2階の大会議室にて開催されました。

作業部会は、複合施設を「利用者がより使いやすく、たくさん利用してもらう施設」にするために、各室の配置や機能などについて、基本計画や設計者である㈱三菱地所設計から提案されたプロポーザル案を基に議論し、その結果をもとに基本設計案を作成することを目標にしています。



コーディネーターからの説明

ROOF2 ワークショップのかたち（全体会と作業部会）

全体会は、配置等全体に影響する内容や、各部会で出された意見などの全体調整や全体整合を図る場にします。

作業部会は、建物空間を中心とした4つの部会（図書館部会、ホール部会、コミュニティ部会、産業部会）で構成し、個々の部会で専門的に検討を行うものです。構成は、図書館であれば、司書やボランティアなど、ホールであれば、ホール利用者、管理者、専門家など、コミュニティであれば、施設を利用する役場関係課、睦大学指導員、施設管理者などです。



ワークショップの様子

ROOF3 今回のワークショップ概要

今回は、1回目なので全体の共通認識のために、全体会を開催しました。まず、岩手県立大学の狩野先生から昨年の取り組みなどについて説明を受け、次に、岩手大学の三宅先生より、ワークショップの意味や、進め方について聞き、さらに事務局より、複合施設の概要説明を行い、その後、部会ごとに分かれてワークショップを行いました。各部会では、県立大学生が入り、また、岩手大学生がコーディネートに協力しました。

ROOF4 ワークショップ結果概要

ホール部会からは、大ホールとホワイエや他の部屋との関係を重視した意見などが、図書館部会からは、利用者と職員の動線や静の部分と賑わいの部分をどう配慮するかといった意見などが、そしてコミュニティ部会からは、ホール、図書館以外の各室について、利用に合わせて各部屋を考慮した方がいいといった意見や各部屋間の連携について提案がなされました。最後に、各部会で出されたアイデアを発表し、全員で内容を確認しました。



各部会発表の様子

ROOF5 まとめ

今後は、これらの意見をもとに、また、新たな情報や意見を加えながら、具体的に各室の配置や内容を詰めていきます。決まった配置などは、話し合いの経過とともに、公表していく予定です。